

110番通報装置
パトホン PT-2060RK

取扱説明書／工事説明書

第9版:2008年 2月 18日

IWATSU



ご注意

- ・本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- ・本書の内容に関しては予告なく変更する場合があります。
- ・本機の仕様、デザイン等に関しては改良のため予告なく変更する場合があります。
- ・本装置のご使用前には必ず本取扱説明書を熟読ください。また、本取扱説明書は大切に保管してください。


必ずお読みください。

ご使用の前に下記をよくお読みの上、正しくお使い下さい。
よくお読みになったあとはいつでも見られる場所に保管してください。

本書中のマークの説明

 警告	この表示を無視し、誤った取り扱いをした場合、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをした場合、人が障害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。

お使いいただくために下記の事項は必ずお守り下さい。

 警告
<ul style="list-style-type: none">● ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないで下さい。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。● 開口部から内部に金属類を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。● 機器に水が入ったりしないよう、またぬらさないようご注意ください。火災・感電の原因となります。● 機器の上や近くに、花びん、植木鉢、化粧品や薬品や水などの入った容器、あるいは小さな金属物を置かないでください。こぼれたりして中に入った場合、火災・感電の原因となります。● 通風孔などから金属類や燃えやすいものなど異物を入れないでください。火災・感電の原因となります。● 故障したまま使用しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店などに依頼してください。● 機器のカバーははずさないでください。また、分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検、調整、修理は販売店にご依頼ください。● AC100V電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。● タコ足配線はしないでください。火災・加熱の原因となります。● 電源プラグの刃に金属などが触れると火災・感電の原因となります。 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。

警告

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し火災・感電の原因となります。
- 電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに電源プラグをコンセントから抜き、煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。
- 万一、この機器を落としたりキャビネットを破損した場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。
- 万一、水その他の異物がこの機器の内部に入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。
- 機器を廃棄する時は、一般廃棄物として捨てないでください。
廃棄時は管轄の自治体（区市町村役場等）に連絡して、しかるべき業者に廃棄を依頼してください。守らないと環境を破壊して第三者の身体に損害を与える原因となることがあります。

注意

- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 直射日光の当たるところや、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。
- 機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり火災の原因となることがあります。
- 水滴がついたら乾いた布で拭き取ってください。
- 電源プラグはコンセントに確実に差込んでください。
- 電源コードを熱器具に近付けしないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグをもって抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷ついて火災・感電の原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源プラグをコンセントから抜き、回線コードなど外部の接続線ははずしたことを確認した上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。
- 衝撃、振動の多い場所は避けてください。
- 電気溶接機、高周波マシン等の電磁雑音を発生する機器、無線機等強電界を発生する機器の近くの設置には、影響を受ける場合があるため避けてください。
- お手入れの際は安全のために電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

はじめに

本装置をご使用になる前に、この取扱説明書をよくお読みになり、正しく取り扱ってください。また、お読みになったあとも必要なときにすぐに見られるよう大切に保管してください。

お知らせ

- パトホンは、電気通信事業法で定められた「端末機器技術基準適合認定」の対象品です。改造などを行なうと法律違反となります。
- パトホンは電子部品(IC等)を採用しているため、テレビ・スピーカーボックス等の電磁波や磁気の発生する機器のそばでのご使用は、雑音が発生したり、通信が途切れる等の原因となる場合がありますので避けてください。
- パトホンの故障もしくは不具合などが原因で発生する付随的損害につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- パトホンは、日本国内で使用できるよう製作されています。海外では使用できません。
- 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意又は過失、誤使用、異常な条件下での使用により生じた損害に対して、当社は一切責任を負いません。
- 本商品の使用又は使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化、消失など）に対して、当社は一切責任を負いません。

お願い

- パトホンは停電時でも動作させるための非常用の電池を実装しています。そのため次の事項にご注意ください。
 - ・ 停電時における動作補償時間は新品の電池で約6時間です(電池が古くなりますと、動作補償時間は次第に短くなり、最後には機能しなくなります。)
 - ・ 電池は消耗品です(寿命は:電池メーカー製造後3年です)。定期的に交換してください。
- パトホンを常に正常な状態でご使用いただくために専門技術者に保守契約をしていただき、定期点検を1年に1回以上実施してください。
- パトホンは、パトホン以外の機器(電話回線やセンサなど)と、電線を使用して接続されています。点検時または異常、あるいは不具合がある時には、必ずパトホンに接続されている機器などについても点検を行なってください。

認定

財団法人 電気通信端末機器審査協会

認証番号 A02-0057JP

平成14年 1月 22日

電波自主規制について

この装置は情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

目次

第1章 取扱説明	1
1. 概要	1
2. 機器のしくみ	2
3. 外観について	4
4. 操作方法	6
第2章 各種仕様	7
1. 一般仕様	7
2. 各種仕様	8
3. 動作説明	9
4. 機器・バッテリーの保守	12
5. 添付品及び別売品	12
第3章 工事説明書	13
【お願い】	13
【工事前の準備】	13
【配線系統図】	15
【各部の名称】	16
【本体設置】	17
【カバーの取り外し方法】	18
【非常用ボタン接続工事】	19
【確認用ランプ・逆信受理用電話機・一般電話機の接続】	20
【接地工事】	21
【警報ブザー接続工事】	21
【バッテリー接続工事】	21
【接続工事後の点検及び電源投入】	22
【設定モード】	23
【ディップスイッチの設定】	27
【表示について】	28
【バッテリー交換方法】	29
【保証書】	30

第1章 取扱説明

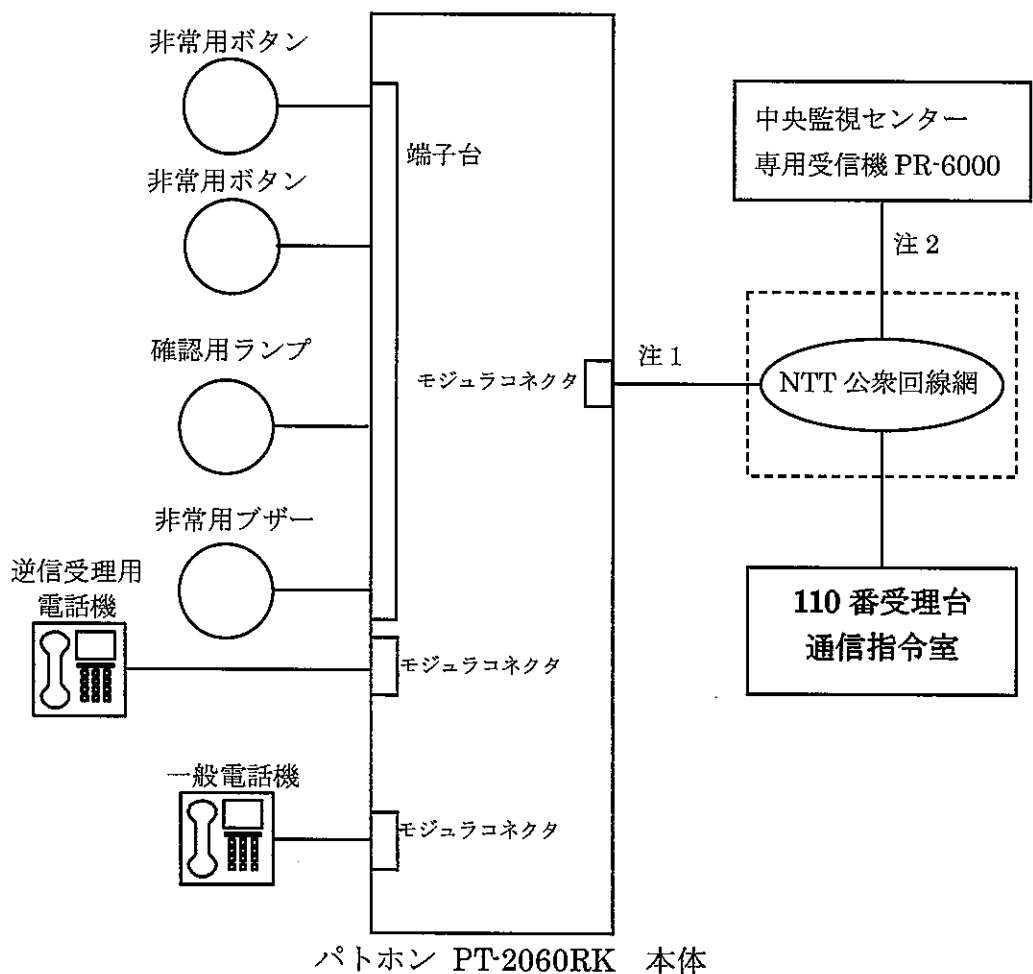
1. 概要

パトホン PT-2060RK は、非常用ボタン押下時に 110 番受理台に架電し、予め記録された音声メッセージにより非常事態の発生、発生場所及び名称などの通報を行い、受理台からの逆信を逆信受理用電話機で受信し、相互通話を行える機能を有した装置です。

- 本装置はアナログ方式の NTT 回線をご利用出来ます(PBX内線では使用できません)。デジタル回線 (INS ネット 64) の場合は指定の TA を介してご利用ください。
- 非常用ボタンによる通報が出来ます。
非常用ボタンを押下すると 110 番に通報し、音声メッセージを送出します。
- 次の機器情報を中央監視センターに通報することが出来ます。
 - ・110 番通報処理完了通報
 - ・停電通報
 - ・予備電池異常通報
 - ・定時通報
 - ・配線異常通報
 - ・110 番通報時の異常通報設定により中央監視センターへの通報を行わないことも出来ます。

2. 機器のしくみ

2-1. システム構成



注1：アナログ回線の場合は直接、接続可能です。デジタル回線 (INS64) の場合は本体と別に専用のターミナルアダプタ (TA) が必要となり、TA のアナログポートに接続する必要があります。

注2：110番通報処理完了、110番通報時の異常、定時通報、予備電池異常、短絡、断線、混触、AC100V 停電及び AC100V ヒューズ断が発生した場合に、中央監視センターに信号通報を行います。

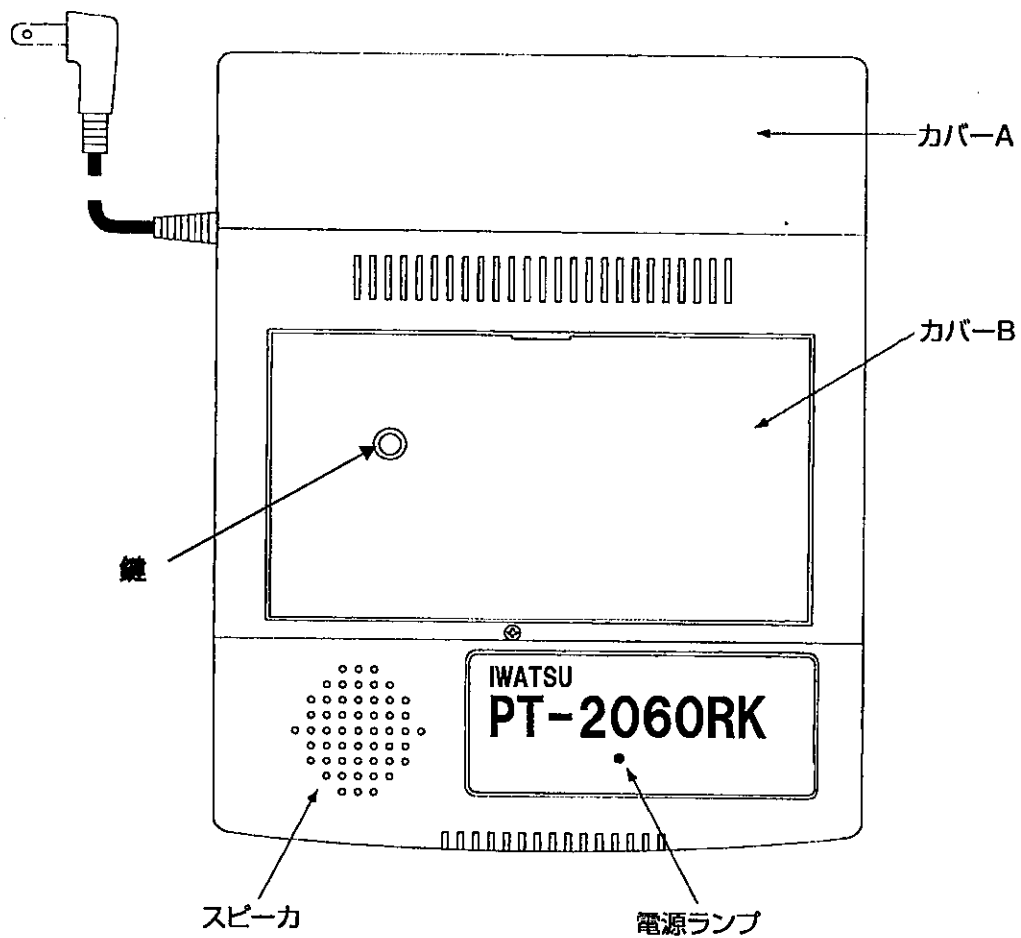
2-2. 構成品表

前項の2-1 システム構成では、下記構成品となります。

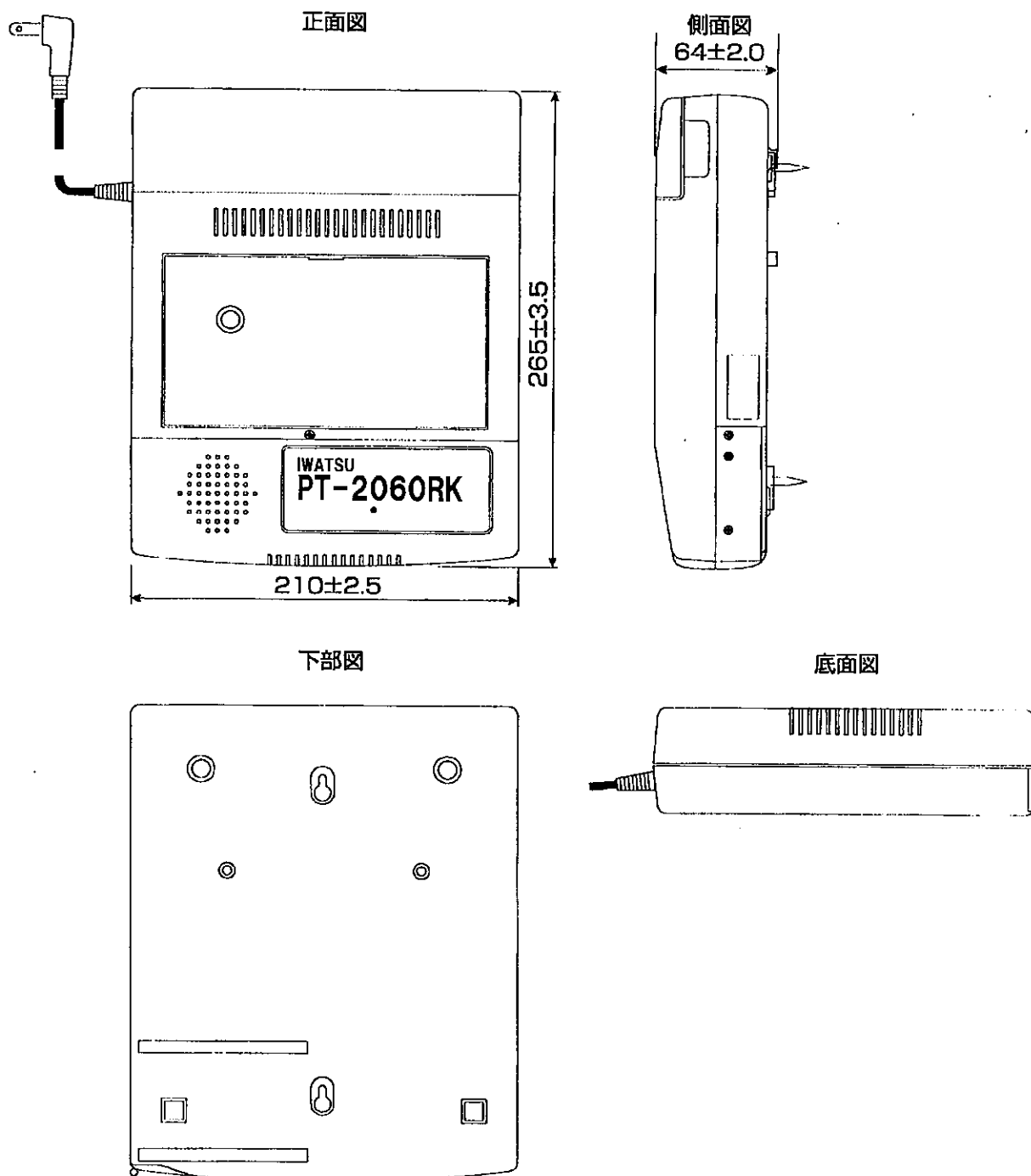
項番	品名	数量	記事
1	パトホン PT-2060RK	1	110番通報装置本体です
2	E197 非常用押しボタン(抵抗入り)	2	非常用の押ボタンスイッチです。
3	確認用ランプ R/G	1	赤色または緑色の確認用ランプです。
4	非常用ブザー SSS-25S	1	非常通報時に鳴動するブザーです。
5	逆信受理用電話機 IW-60J	1	110番受理台からの逆信専用の電話機です。

3. 外観について

3-1. 各部の名称



3-2. 寸法図



寸法は鍵部含まず

4. 操作方法

4-1. 一般電話機の使い方

通常はいつも通りにお使いください。但し、110番通報しているときは電話機を使用することは出来ません。110番通報完了後、使用することが出来ます。

4-2. 緊急時の操作

非常用ボタンの透明カバーを突き破ってボタンを押してください。

自動的に110番受理台に対して音声メッセージで通報します。

110番受理台より確認の電話(逆信)がありますので逆信受理用電話機が鳴動しましたら受話器を上げ通話をしてください。通話が終了しましたら受話器を元の位置に戻してください。

4-3. 情報の送付

① 110番通報(音声通報)の内容は次の通りです。

最初は“ピピピ”音の送付を行います。

110番受理台の応答確認後、フロントメッセージ「非常通報、非常通報」、110番通報メッセージ(非常事態が発生した場所及び名称等)及びエンドメッセージ「逆信して下さい」の送付を行います。

② 中央監視センターへの通報(信号通報)の内容は次の通りです。

中央監視センターでは専用受信機PR-6000で受信します。

端末番号と機器情報を信号で通報します。

通報時には全て定時通報(02)が付きます。

1回の通報で複数の通報内容が通報されることもあります。

通報内容	専用受信機 PR-6000 での 印字内容
110番通報処理完了	02 03
予備電池の電圧降下等の異常(バッテリーギブアップ)	02 07
非常用ボタンの異常及び配線の異常	01 02
AC100Vの停電を検出した場合(ヒューズ断線含む)	02 05
定時通報	02
110番通報の発信時、DT検出継続異常	02 11
110番通報の発信時、BT検出継続異常	02 12
110番通報の発信時、110番の受理台不応答	02 13
110番受理台からの逆信不応答	02 14

4-4. 動作を停止する場合

通報中に動作を停止する場合及び通報後初期状態に戻す場合は鍵を使ってカバーBを開けて電源スイッチ2個(AC,DC)をOFFしてください。確認用ランプとブザー音を停止させる場合(通報は継続されます)は取消スイッチ(P.TESTと表示されています。)を押してください。

第2章 各種仕様

1. 一般仕様

項目	内容		規格
環境	動作	周囲温度	0°C ~ +40°C
		相対湿度	30% ~ 85% (結露無きこと)
	保存	周囲温度	-5°C ~ +50°C
		相対湿度	90% 以下 (結露無きこと)
入力電源	電源電圧	AC100V±10V(50/60Hz)	
	消費電力	約16VA(動作時)	
予備電源	電源電圧	12V(鉛蓄電池)	
	電池容量	800mAH	
	停電補償時間 (常温、3回通報)	約6時間(但し、新品使用時) 電池は消耗品のため、電池メーカー製造後3年で交換が必要	
	充電時間	約1週間	
外観	寸法	265±3.5 × 210±2.5 × 64±2.0 (mm)	
	重量	約1.8(kg)	
技術基準	認証番号	A02-0057JP	

2. 各種仕様

項目		内容
端末番号		00000~99999(専用受信機に通報時使用)
電話回線		一般加入者回線(アナログ回線) デジタル回線(INS64)に接続する場合は、TAが必要。 直流抵抗値:271Ω
ダイヤル 方式	種別	DP(10pps、20pps)/PB
	桁数	最大16桁
通報先	110番通報	非常用ボタン押下時に通報を行う。 不応答時の自動再発信回数:98回 通報方式は、音声通報
	中央監視センター通報	110番通報処理完了通報、または定時通報、 または機器異常通報を行う。 通報先:1カ所(最大16桁) 不応答時の自動再発信回数:98回 通報方式は、信号通報
音声 メッセージ	110番通報関連	
	・フロントシグナル	1種類(最大5秒):「非常通報の試験です」
	・フロントメッセージ	1種類(最大5秒):「非常通報、非常通報」
	・エンドシグナル	1種類(最大5秒):「ピンポンパン」
	・エンドメッセージ	1種類(最大5秒):「逆信して下さい」
	・110番通報メッセージ	1種類(最大24秒):発生場所など メッセージ繰り返し回数:1回
	・電話使用中時の相手向けのメッセージ	1種類(最大5秒): 「非常事態が発生しました110番通報を行います」 メッセージ繰り返し回数:1回
	入力ポート数	6ポート(非常用ボタン接続) 非常用ボタン1個/ポート
非常通報 入力	入力抵抗	400Ω以下(接点を含むループ抵抗)
	検出種別	メーク/ブレーク接点(無電圧接点)
	検出継続時間	0.3秒
	起動条件	立ち上がり起動
	通報条件	常時通報可能
確認用ランプ		発報した時点(非常用ボタン押下時)で緑色点灯。 逆信検出(逆信応答)により、緑色消灯し、赤色点灯。
外部出力接点(非常ブザー用)		供給電源DC12V、50mA以下(AC通電時)

3. 動作説明

(1) 非常時の 110 番通報

- ・ 非常用ボタンが押下されたことを検出すると回線を捕捉し、約 3 秒後に「110」番の選択信号 (DP/PB) の送出行います。同時に外部確認用ランプの緑色を点灯させ、設定により、外部非常用ブザーの鳴動、またはスピーカから警告音または警告音声を出力します。
- ・ 回線使用時には、通話相手に“電話使用中の相手向けのメッセージ”を 1 回送出して、回線を強制的に切断し、数秒後に回線を捕捉し、約 3 秒後に「110」番の選択信号 (DP/PB) の送出行います。
- ・ 選択信号送出後、DT (ダイヤルトーン) が停止しない場合は、ダイヤル種別を自動的に切り替え再度選択信号の送出行います。DP ダイヤルで DT が停止しない場合は PB ダイヤル、PB ダイヤルで DT が停止しない場合は DP ダイヤルにダイヤル種別の変更を自動的に行います。
- ・ 選択信号送出後、BT (ビジートーン) を検出した場合は、一旦回線を開放し再発信を行います。繰り返し回数は 98 回です。
- ・ 選択信号送出後、110 番受理台の応答確認を行い、応答が確認されるとメッセージ送出を開始します。
- ・ RBT が 105 秒間連続する場合 (受理台が応答しない) は、一旦回線を開放し、約 15 秒後に再発信を行います。繰り返し回数は 98 回です。また、本装置からの発報であることを通知するため、“ピピピ”音の送出を行います。
- ・ 送出メッセージは、予め録音されたフロントメッセージ「非常通報、非常通報」、110 番通報メッセージ (非常事態が発生した場所及び名称等のメッセージ) 及びエンドメッセージ「逆信して下さい」の送出を行います。
- ・ 上記音声メッセージを 1 回送出後、強制的に回線を切断して逆信待ち状態となります。7 秒間逆信を検出できない場合は再度オフフックを行い、メッセージの送出を行います。送出後、回線を切断して逆信待ち状態となります。これを 4 回繰り返し、最終回のメッセージ送出後、15 秒間の逆信待ちを行い、逆信が検出できない場合は、再発信を行います。逆信を検出した場合は、確認用ランプの緑色を消灯させ、赤色の点灯を行います。また、外部非常用ブザーの鳴動、または警告音を停止させます。
- ・ 点灯している確認用ランプを消灯させる場合は、PT-2060RK 本体の鍵を使ってカバー B を開けて取消スイッチの押下を行います。110 番通報を停止する場合は電源スイッチ (DC, AC) を OFF にしてください。
- ・ 逆信での通話が完了 (110 番通報処理完了) すると中央監視センターに通報します (中央監視センターの電話番号設定が 0000 の場合は通報しません)。又、中央監視センターに設置された PR-6000 のプリンタから 02 03 が印字されます。再発信は 98 回です (超過しますとスピーカより警告音出力されます。)

通報内容	中央システム (専用受信機 PR-6000) での印字内容
110 番通報処理完了	02 03

(2)装置異常通報

- ・ 予備電池の電圧降下等の異常を検出した場合は、即時に中央監視センターに対して自動的に通報を行います。また、非常用ボタンの異常及び配線の異常を検出した場合及びAC100Vの停電を検出した場合(ヒューズ断線含む)は、60分間継続確認後に中央監視センターに対して自動的に通報を行います(中央監視センターの電話番号設定が0000の場合は通報しません)。
- ・ 通報は、併設電話機の使用の有無を確認し、使用されている場合は通話終了後、使用されていない場合は即時に回線を捕捉し、約3秒後に予め登録された中央監視センター電話番号の選択信号の送出を行います。
- ・ 選択信号送出後、DTが停止しない場合は、ダイヤル種別を自動的に切り替え再度選択信号の送出を行います。DPダイヤルでDTが停止しない場合はPBダイヤル、PBダイヤルでDTが停止しない場合はDPダイヤルにダイヤル種別の変更を自動的に行います。
- ・ 選択信号送出後、BT(ビジートーン)を検出した場合は、一旦回線を開放し再発信を行います。繰り返し回数は98回です(超過しますとスピーカより警告音が出力されます。)
- ・ 選択信号送出後、中央監視センター応答によるENQ信号(専用受信機から送出する信号)を検出した場合は、中央監視センター応答と判断して、信号送出を開始します。RBTが約105秒間連続する場合(中央監視センターが応答しない)は、一旦回線を開放し、約15秒後に再発信を行います。繰り返し回数は98回です(超過しますとスピーカより警告音が出力されます。)
- ・ 通報完了後、中央監視センターの専用受信機PR-6000のプリンタから通報内容により、以下の表示出力が行われます。

通報内容	中央システム(専用受信機PR-6000)での印字内容
予備電池の電圧降下等の異常	02 07
非常用ボタンの異常及び配線の異常	01 02
AC100Vの停電を検出した場合(ヒューズ断線含む)	02 05
110番通報の発信時、DT検出継続異常	02 11
110番通報の発信時、BT検出継続異常	02 12
110番通報の発信時、110番の受理台不応答	02 13
110番受理台からの逆信不応答	02 14

(3) 定時通報

- ・ 1 ヶ月毎の定時通報のため、最後の通報から30日が経過すると中央監視センターに対して自動的に通報を行います(中央監視センターの電話番号設定が 0000 の場合は通報しません)。
- ・ 通報は、一般電話機の使用の有無を確認し、使用されている場合は通話終了後、使用されていない場合は即時に回線を捕捉し、約 3 秒後に予め登録された中央監視センター電話番号の選択信号の送出を行います。
- ・ 選択信号送出後、DT が停止しない場合は、ダイヤル種別を自動的に切り替え再度選択信号の送出を行います。DP ダイヤルでDT が停止しない場合はPB ダイヤル、PB ダイヤルでDT が停止しない場合は DP ダイヤルにダイヤル種別の変更を自動的に行います。
- ・ 選択信号送出後、BT(ビジートーン)を検出した場合は、一旦回線を開放し再発信を行います。繰り返し回数は 98 回です(超過しますとスピーカより警告音が出力されます。)
- ・ 選択信号送出後、中央監視センター応答による ENQ 信号(専用受信機から送出する信号)を検出した場合は、中央監視センター応答と判断して、信号送出を開始します。RBT が約 105 秒間連続する場合(中央監視センターが応答しない)は、一旦回線を開放し、約 15 秒後に再発信を行います。繰り返し回数は 98 回です(超過しますとスピーカより警告音が出力されます。)
- ・ 通報完了後、中央監視センターの専用受信機 PR-6000 のプリンタから以下の表示出力が行われます。

通報内容	中央システム(専用受信機 PR-6000)での印字内容
定時通報	02

4. 機器・バッテリーの保守

バッテリーには寿命(電池メーカー製造後3年)がありますので交換時期が来ましたら交換してください。
交換時期はバッテリーに表示してあります。

5. 添付品及び別売品

5-1. 添付品

名 称	数量	備 考
PT-2060RK 取扱説明書/工事説明書	1	
木ネジ	2	WR(+) 4.1×16
束線バンド	2	
TIE ケーブル(PLT-1M)	2	
PT-2060RK 添付シール	1	
非常 110 番プレート	3	
鍵	1	カバーB用

5-2. 別売品

名 称	備 考
IW-60J	逆信受理用電話機
警報ランプ R/G	確認用ランプ
E197 非常用押しボタン(抵抗入り)	非常用押しボタン
警報ブザー SSS-25S	非常用ブザー

第3章 工事説明書

⚠【お願い】

- ① 工事を行う前に必ずお読みになり、正しく施工してください。
- ② 関連法規を遵守してください。特に、次の法令等は関係が深いのでご承知ください。
 - 電気通信事業法および端末設備等規則
 - 電気設備に関する技術基準および内線規定
 - NTT電話サービス契約約款
- ③ 工事は、工事担任者に依頼してください。専用電源工事が必要な場合は、電気工事士に依頼してください。
- ④ お客様への引渡しは物品の確認と取扱説明書／工事説明書の確認、引渡し試験を実施し工事確認書を取り交わしてください。
- ⑤ 線くず類を装置内に落とさないよう十分に注意してください。
- ⑥ AC 電源、コンピュータ、テレックス等の配線と機器配線とは平行に配線しないでください。
- ⑦ 機器配線の露出配線等で踏まれるなど圧迫される恐れがある場合は、プロテクタ等により保護してください。
- ⑧ AC 電源は100V であることおよび、設置機器の定格消費電力を供給できることを確認し、コンピュータ、テレックス等と別のコンセントを使用してください。
- ⑨ 装置を分解・改造しないでください。ネジを装置内に落とした場合や内部ヒューズを交換したい場合は装置を販売店に返却してください。

【工事前の準備】

工事を行う前に添付品を確認してください。

名 称	数量	備 考
PT-2060RK 取扱説明書/工事説明書	1	
木ネジ	2	WR(+) 4.1×16
束線バンド	2	
TIE ケーブル(PLT-1M)	2	
PT-2060RK 添付シール	1	
非常 110 番プレート	3	
鍵	1	カバーB 用

使用する別売品を確認してください。

名 称	備 考
IW-60J	逆信受理用電話機
警報ランプ R/G	確認用ランプ
E197 非常用押しボタン(抵抗入り)	非常用押しボタン
警報ブザー SSS-25S	非常用ブザー

工事を行う前に必要に応じて次の物品と工具を用意してください。

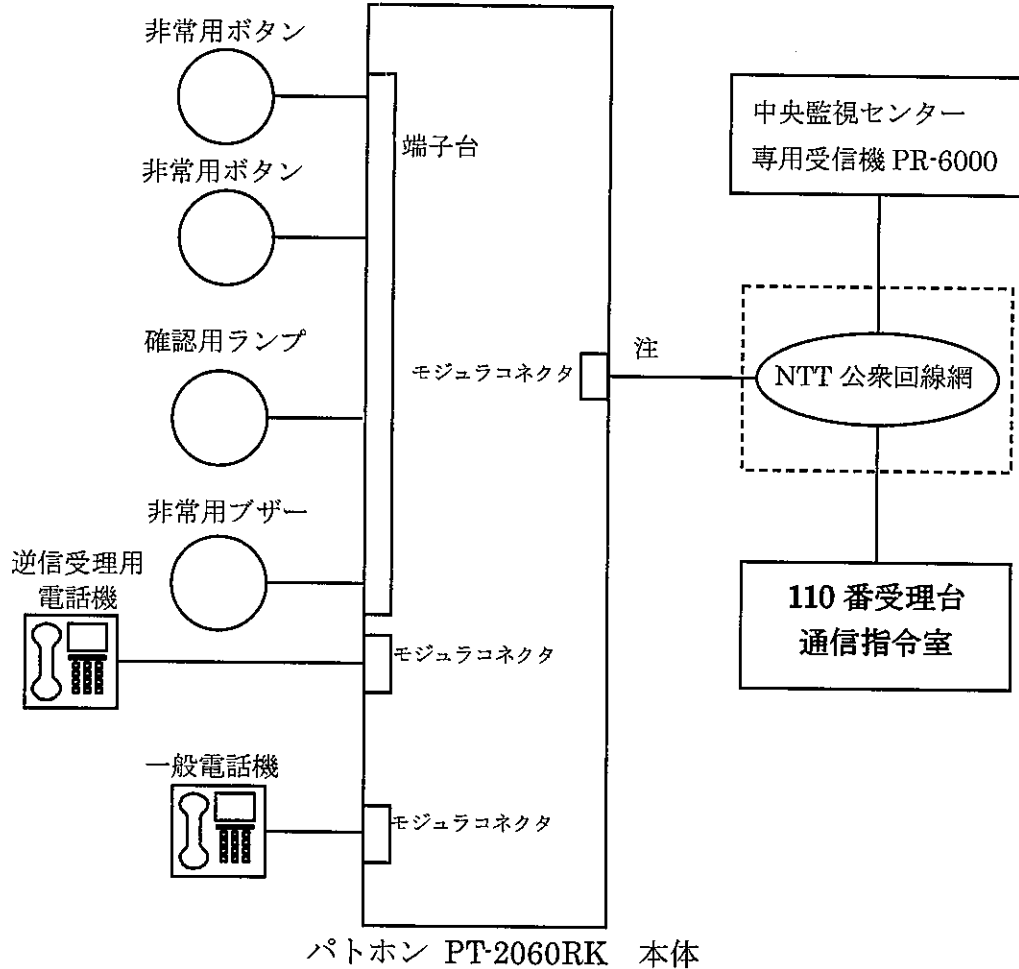
- ・ プラスドライバー(M2.6、M3用)
- ・ 圧着工具(閉端接続子用 例 YS-2216 日本圧着端子製)

(消耗品等)

- ・ モジュラーコード(FTC-2(2))
- ・ 富士ICTケーブル0.5mm×2P相当品
- ・ 富士ICTケーブル0.5mm×4P相当品
- ・ 接地線 IV1.6mm単線相当品(緑色 黄色線入り)
- ・ 本体取付板(15×400×250):必要な場合

【配線系統図】

【お願い】工事をされる前に、第1章取扱説明もあわせてご覧ください。

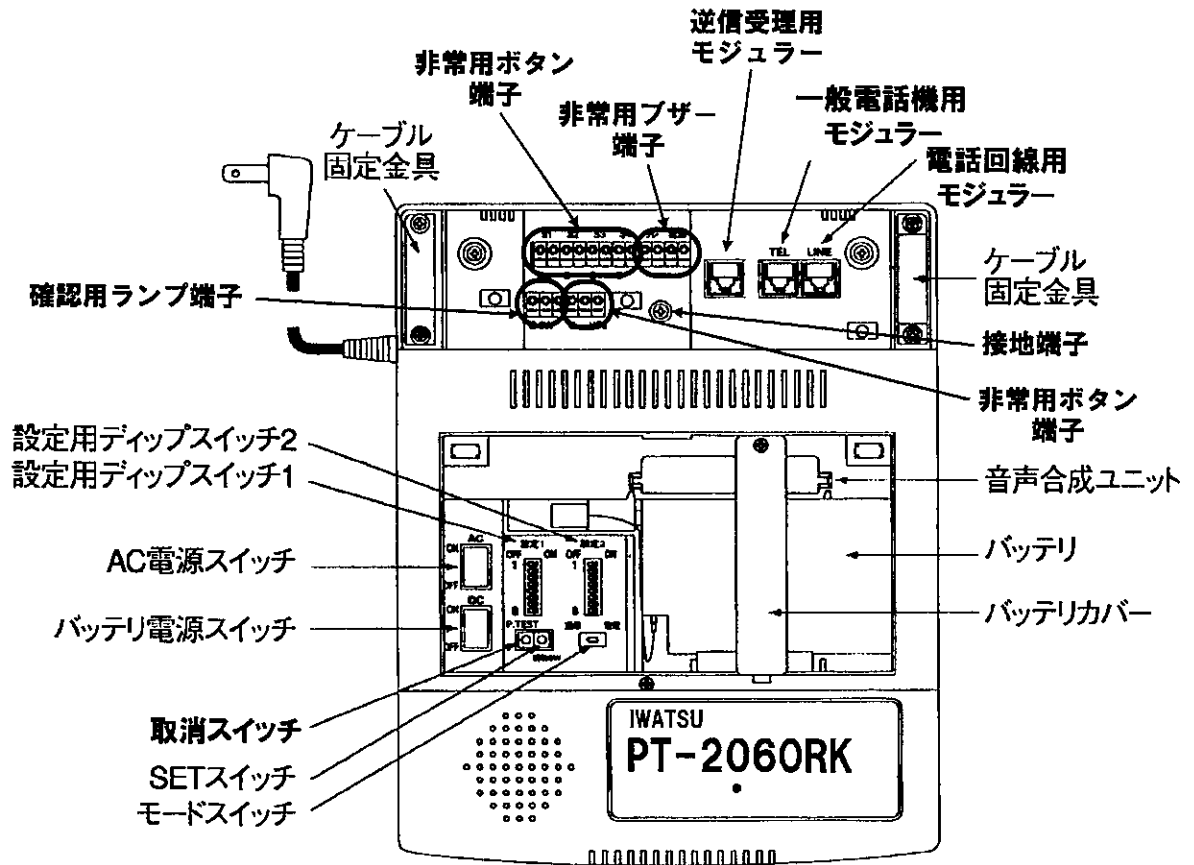


注:アナログ回線の場合は直接、接続可能です。デジタル回線(INS64)の場合は本体と別に専用のターミナルアダプタ(TA)が必要となり、TAのアナログポートに接続する必要があります。

上記システム構成では、下記構成品となります。

品名	数量
パトホン PT-2060RK 本体	1
E197 非常用押しボタン(抵抗入り)	2
確認用ランプ R/G	1
非常用ブザー SSS-25S	1
逆信受理用電話機 IW-60J	1

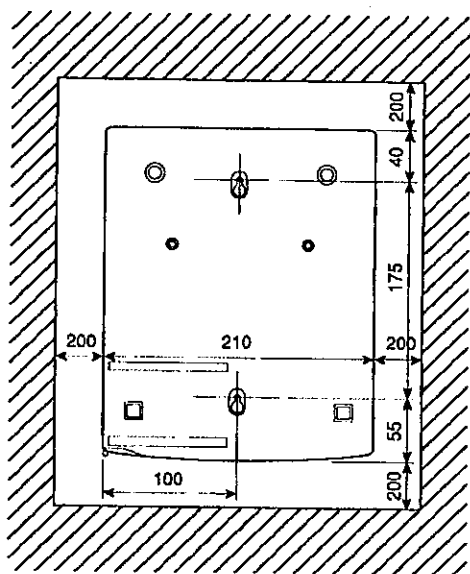
【各部の名称】



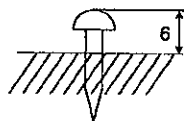
【本体設置】

壁掛け型で使用する場合は以下に示すように設置してください。

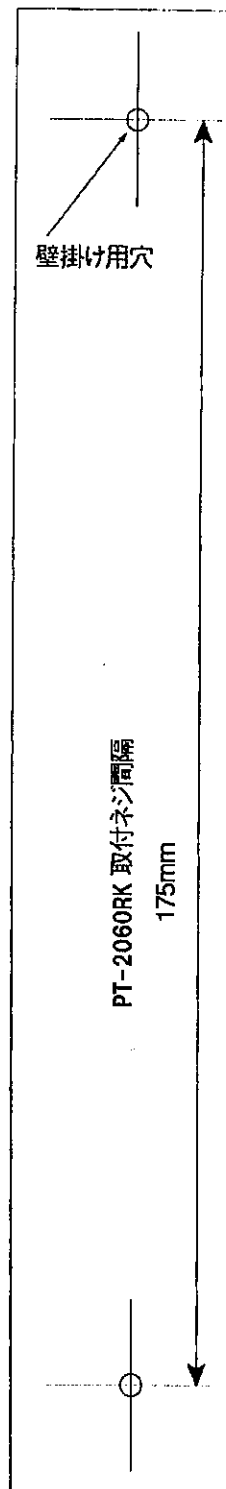
- ① 2カ所の壁掛用穴の取付ネジ間隔に合わせて、添付ネジを壁にねじ込んでください。突出長さは約6mmです。
- ② PT-2060RK本体を引掛けてください。
- ③ 全周囲約200mmの空間を設けてください。



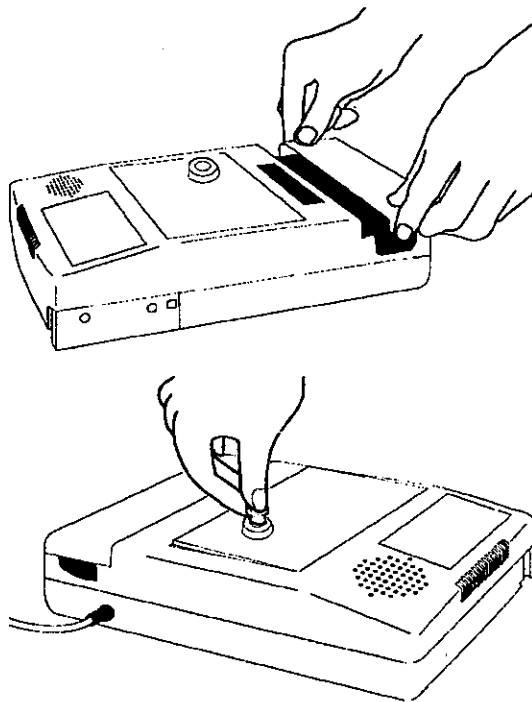
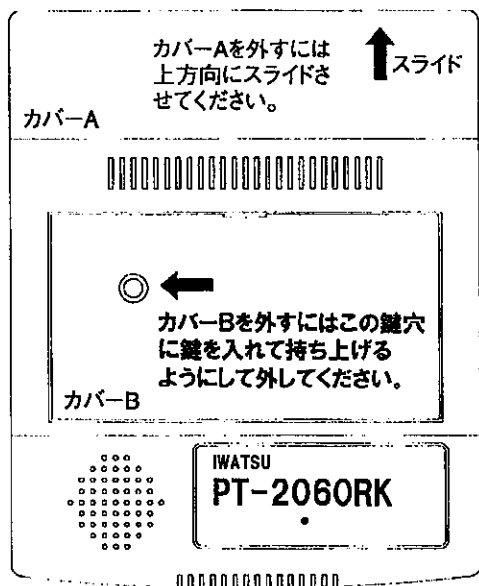
障害物 単位：mm



取付穴位置図



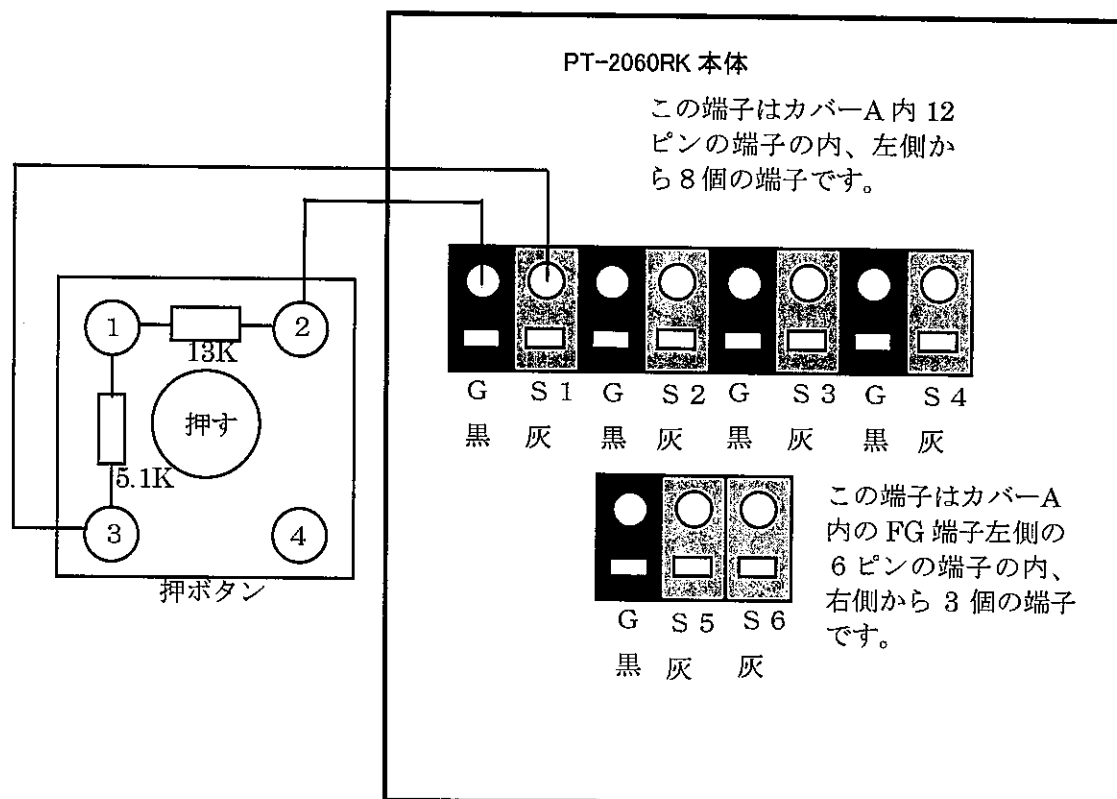
【カバーの取り外し方法】



【非常用ボタン接続工事】

PT-2060RK 非常用ボタン端子と押ボタンの配線を以下の通りに行います。

押ボタンの 2 箇所のネジを外し、上蓋を取り外します。



- ① 押ボタンの 2 番端子と PT-2060RK の G 端子を接続します。
- ② 押ボタンの 3 番端子と PT-2060RK の S1 端子(又は S2 端子～S6 端子)を接続します。

注意: 押ボタンを 6 個使用する場合は、S5 端子(HF1 と表示)と S6 端子(HF2 と表示)の G 端子を共通に使用してください。

上記配線を使用する全ての押ボタンに行います。

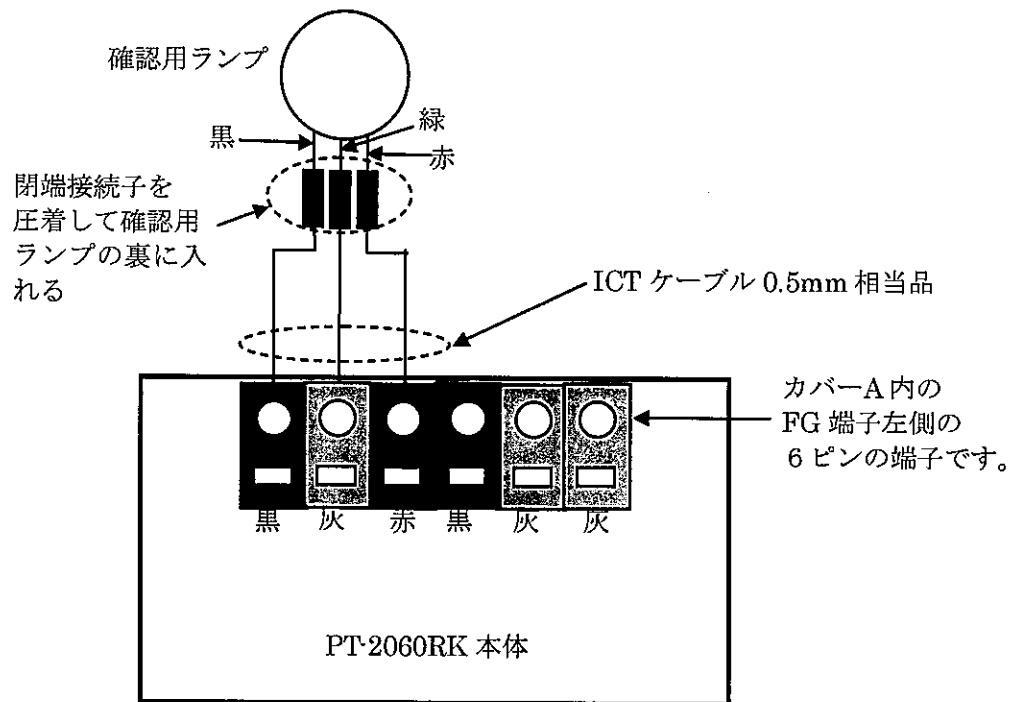
接続後、押ボタンが押されていないことを確認して、押しボタンの上蓋をネジ止めして下さい。

⚠ 本装置で使用する非常用ボタンは下記の改造を行っているものでないと使用出来ません。

押ボタンの 1 番端子と 2 番端子間に 13K Ω 、1 番端子と 3 番端子間に 5.1K Ω の抵抗が取り付けられていること。

【確認用ランプ・逆信受理用電話機・一般電話機の接続】

- 確認用ランプ



- 逆信受理用電話機

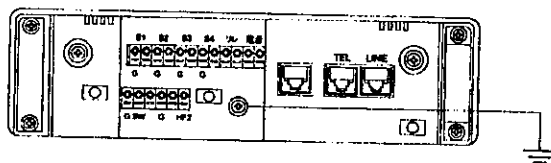
逆信受理用電話機はカバーA内の逆信受理用モジュラーコネクタに接続してください。

- 一般用電話機

一般電話機はカバーA内の TEL と表示されている一般電話機用モジュラーコネクタに接続してください。

【接地工事】

接地(アース)は必ず行ってください。



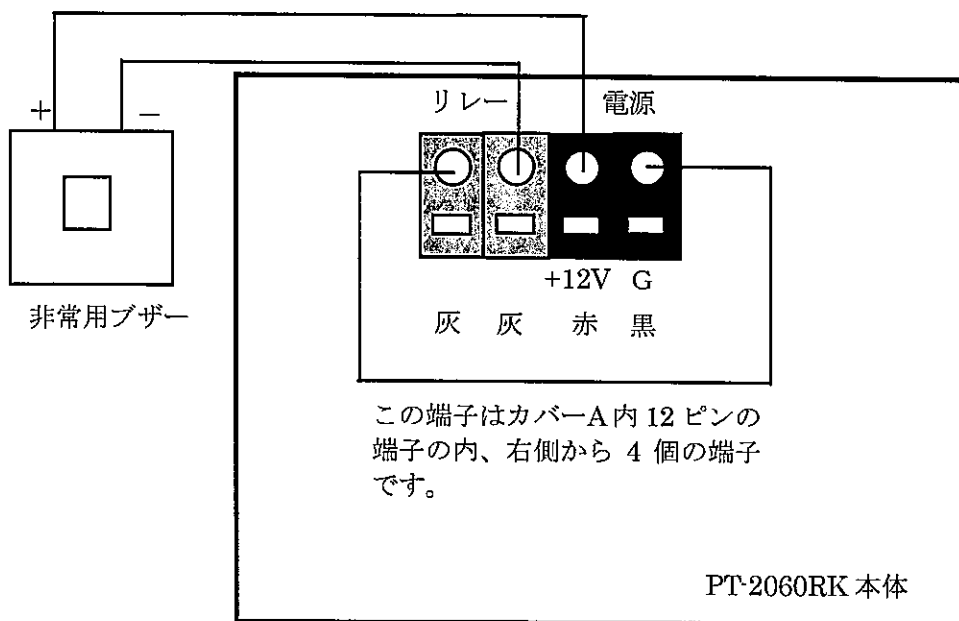
接地(D種 100Ω以下)



- ・ アース接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行なってください。又、アース接続を外す場合は必ず電源プラグを電源から切り離してから行なってください。
- ・ 他の機器のアースを本装置のアースに取り回さないでください。

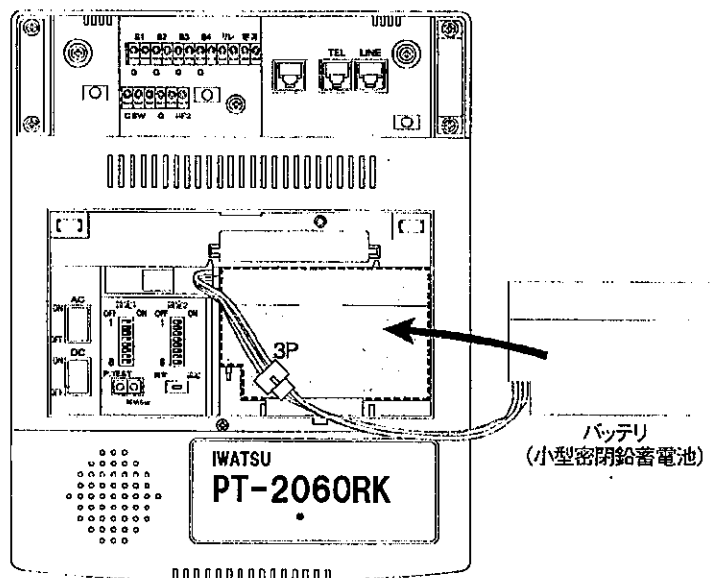
【警報ブザー接続工事】

警報ブザーを鳴動させる場合、下記の接続を行ってください。



【バッテリー接続工事】

バッテリーは実装されていますので、バッテリーコネクタの接続をしてください。



【接続工事後の点検及び電源投入】

電話回線とPT-2060RK本体のLINEは **接続しない状態**で行ってください。

- ① 電源コンセント(AC100V)に電源プラグを差し込んで下さい。
- ② DC電源スイッチをONにし、次にAC電源スイッチをONにして下さい。
- ③ スピーカからの発信音(“ピッ”)の後に電源ランプが点灯することを確認して下さい。電源ランプが点滅している場合は、バッテリーの接続、非常ボタンの接続、非常ボタンが押されていないかなどを確認して下さい。電源ランプが点灯しない場合は、電源プラグを抜き、バッテリーコネクタを外してから再度配線の確認を行って下さい。
- ④ 中央監視センター(専用受信機 PR-6000)の電話番号と本機の端末番号が設定されていない場合は電源ON時にスピーカ音(BT音)が鳴動し続けます。モードスイッチを設定モードにすると鳴動は停止しますので、上記電話番号と端末番号の設定を行ってください。設定モードについては【設定モード】の項目をご参照ください。
- ⑤ 上記③のスピーカからの発信音(“ピッ”)の後に電源ランプが点灯することを確認後、3分間電源ランプが点灯を継続することを確認してください。電源ランプが点滅する場合は、再度配線を確認してください。
- ⑥ 上記⑤の電源ランプが点灯を継続している場合にのみ、カバーA内のLINEと表示されている電話回線用モジュラーコネクタに回線を接続してください。

【設定モード】

設定モードでは項目番号と登録内容がスピーカから音声で出力されます。

設定モードにするにはカバーB内のモードスイッチを“通常”から“設定”にします。

設定モードにして電源スイッチ 2 個(DC,AC)を ON にしてください。

・各項目番号において TEL 端子に接続された一般電話機から PB 信号をダイヤルすることにより設定を行うことができます。

・各項目番号において“SET”スイッチを押すと次の項目番号と登録内容がスピーカから出力されます。

・各項目番号において取消スイッチを押すと登録内容が消去されます(項目 12 の音声除く)。

項目番号と内容は下表の通りです。

設定モード表

項目番号	内容			
1	110 番通報時の外部非常用ブザーと警告音(本体スピーカ出力)の切替設定 0:110 番通報時、外部非常用ブザーを鳴らす(デフォルト) 1:110 番通報時、本体スピーカから警告音を鳴らす			
2	110 番通報時の警告音の内容設定(項目番号1が1設定のときに有効) 0:110 番通報時、本体スピーカから音声による警告音を出力する(デフォルト) 1:110 番通報時、本体スピーカから信号による警告音を出力する			
3	中央監視センター(PR-6000)の電話番号(最大 16 桁) (デフォルト無し) 0000を設定した場合は中央監視センターへの通報は行わない			
4	端末番号(5 桁固定) (デフォルト無し)			
5	110 番通報時の非常用ブザー鳴動または警告音の有無設定(6 桁固定) 0:110 番通報時、外部非常用ブザーまたは警告音を鳴らさない(デフォルト) 1:110 番通報時、外部非常用ブザーまたは警告音を鳴らす 非常用ボタンS1～S6の各入力により、それぞれ選択可能。			
6	定時通報スタートオフセット時間設定(項目番号6と7の組合せで設定する)			
7	項目番号	オフセット時間無し(デフォルト)	オフセット 6 時間	オフセット 12 時間
	6	0	1	1
	7	0	0	1
スタートオフセット時間以降は 30 日間の定時通報間隔になります。				
8	設定不可			
9	設定不可			
10	設定不可			
11	設定不可			
12	音声の録音/再生			

① スピーカより“イチ”のメッセージを出力します。この状態は、110 番通報時の外部非常用ブザーと警告音(本体スピーカ出力)切替の設定を行います。

(外部非常用ブザー:0、本体スピーカ出力:1、デフォルト:0)

上記メッセージ出力に続き、設定されている番号のメッセージ出力を行います。取消スイッチを押すことにより、デフォルト設定にして、“イチ”、“ゼロ”のメッセージを出力します。

一般電話機からのダイヤル(0または1)により切替設定の登録を行います。

設定完了はダイヤル#または“SET”スイッチを使用します。

次の項目に進める場合は“SET”スイッチを押してください。

- ② スピーカより“ニー”のメッセージを出力します。この状態は、110 番通報時の警告音の内容設定を行います。(メッセージ出力:0、警告音出力:1、デフォルト:0)

上記メッセージ出力に続き、設定されている番号のメッセージ出力を行います。取消スイッチを押すことにより、デフォルト設定にして、“ニー”、“ゼロ”のメッセージを出力します。

一般電話機からのダイヤル(0または1)により警告音有無の登録を行います。

設定完了はダイヤル#または“SET”スイッチを使用します。

次の項目に進める場合は“SET”スイッチを押してください。

- ③ スピーカより“サン”のメッセージを出力します。この状態は、センター通報先の電話番号の登録/確認/取消を行います。

・センター通報先電話番号が登録されている場合は、上記メッセージ出力に続き、登録されている電話番号のメッセージが出力されます。取消スイッチを押すことにより、登録されている電話番号の消去を行い、再度“サン”のメッセージが出力されます。

・センター通報先電話番号が登録されていない場合は、一般電話機からの PB ダイヤル(0~9,*)により電話番号を登録します(最大 16 桁)。ポーズは*です(ポーズ時間 3 秒)。

登録完了はダイヤル#または“SET”スイッチを使用します。

例 センター通報先電話番号 03-1234-5678 → 一般電話機から 0312345678#とダイヤルする。
(#の代わりに“SET”スイッチでも可)

次の項目に進める場合は“SET”スイッチを押してください。

- ④ スピーカより“ヨン”のメッセージを出力します。この状態は、端末番号の登録/確認/取消を行います。

・端末番号が登録されている場合は、上記メッセージ出力に続き、登録されている端末番号のメッセージが出力されます。取消スイッチ押すことにより、登録されている端末番号の消去を行い、再度“ヨン”のメッセージが出力されます。

・端末番号が登録されていない場合は、一般電話機からの PB ダイヤル(0~9のみ、*は無視)により端末番号を登録します。

端末番号は 5 桁固定で、6 桁目以降は無視します(1~4桁での登録は出来ません)。

例 端末番号 12345 → 一般電話機から 1,2,3,4,5,#とダイヤルする。

(#の代わりに“SET”スイッチでも可)

0000を設定した場合は中央監視センターへの通報は行いません。

次の項目に進める場合は“SET”スイッチを押してください。

- ⑤ スピーカより“ゴー”のメッセージを出力します。この状態は、通報時、外部ブザー鳴動の有無の設定を行います。(ブザー鳴動無し:0、ブザー鳴動有り:1、デフォルト:0)(6 桁固定)

上記メッセージ出力に続き、設定されている番号のメッセージ出力を行います。取消スイッチを押すことにより、デフォルト設定にして、“ゴー”、“ゼロ”、“ゼロ”、“ゼロ”、“ゼロ”、“ゼロ”、“ゼロ”のメッセージを出力します。

一般電話機からのダイヤル(0または1)により外部ブザー鳴動の有無の登録を行います。

設定完了はダイヤル#または“SET”スイッチを使用します。

例 押ボタン 1、押ボタン 2、押ボタン 6 が押された場合はブザーを鳴動し、押ボタン 3、押ボタン 4、押ボタン 5 が押された場合はブザーが鳴動しない場合の入力 → 一般電話機から 1,1,0,0,0,1,#とダイヤルする。(#の代わりに“SET”スイッチでも可)

次の項目に進める場合は“SET”スイッチを押してください。

- ⑥ スピーカより“ロク”のメッセージを出力します。この状態は次の⑦の項目と合わせて定時通報のスタートオフセット時間の設定を行います(設定モード表参照)。

上記メッセージ出力に続き、登録されている設定番号のメッセージが出力されます。取消スイッチを押すことにより、登録されている設定番号の消去を行い、再度“ロク”のメッセージが出力されます。

次の項目に進める場合は“SET”スイッチを押して次に進めてください。

- ⑦ スピーカより“ナナ”のメッセージを出力します。この状態は前の⑥の項目と合わせて定時通報のスタートオフセット時間の設定を行います(設定モード表参照)。

上記メッセージ出力に続き、登録されている設定番号のメッセージが出力されます。取消スイッチを押すことにより、登録されている設定番号の消去を行い、再度“ナナ”のメッセージが出力されます。

次の項目に進める場合は“SET”スイッチを押して次に進めてください。

- ⑧ スピーカより“ハチ”のメッセージを出力します。

この項目は設定不可ですので“SET”スイッチを押して次に進めてください。

- ⑨ スピーカより“キュウ”のメッセージを出力します。

この項目は設定不可ですので“SET”スイッチを押して次に進めてください。

- ⑩ スピーカより“イチ”、“ゼロ”のメッセージを出力します。

この項目は設定不可ですので“SET”スイッチを押して次に進めてください。

- ⑪ スピーカより“イチ”、“イチ”のメッセージを出力します。

この項目は設定不可ですので“SET”スイッチを押して次に進めてください。

- ⑫ スピーカより“イチ”、“ニー”のメッセージを出力します。この状態では、音声通報の通報メッセージの録音／再生／取消を行います。

音声の録音／再生／消去方法については次項にて説明します。

設定が全て終了しましたらモードスイッチを“設定”から“通常”にします。この時、スピーカ音(BT音)が鳴り続ける(2秒以上)場合は、電話番号又は端末番号が登録されていないので再度登録を行ってください。

【音声通報の通報メッセージの種類及び録音／再生／消去方法について】

(a) メッセージの種類

- ・ フロントシグナル(FS) : “非常通報の試験です”の固定メッセージ
- ・ フロントメッセージ(FM) : “非常通報、非常通報”の固定メッセージ
- ・ 通報内容メッセージ(KM) : “こちらは・・・”の可変メッセージ
- ・ エンドシグナル(ES) : “ピンポンパン”の固定メッセージ
- ・ エンドメッセージ(EM) : “逆信して下さい”の固定メッセージ
- ・ 非常事態メッセージ(HM) : “非常事態が発生しました 110 番通報を行います”
の固定メッセージ

(b) 固定メッセージの再生

TEL 端子に接続されている一般電話機から以下の 2 桁の PB ダイアルと、その後の“#”により、再生(スピーカ出力)を開始します。

- フロントシグナル(FS) : ダイアル“21”
- フロントメッセージ(FM) : ダイアル“22”
- エンドシグナル(ES) : ダイアル“23”
- エンドメッセージ(EM) : ダイアル“24”
- 非常事態メッセージ(HM) : ダイアル“25”

(c) 可変メッセージ(KM)の録音／再生／消去

・ 録音(消去)

TEL 端子に接続されている一般電話機から“00”の PB ダイアルと、その後の“#”ダイアルにより、録音を開始します。録音時間は 24 秒です。24 秒以内に録音を終了する場合“SET”スイッチを押してください。“SET”スイッチが押された時点で録音を停止します。録音内容の消去は上記ダイアル後、即“SET”スイッチを押すか無音を録音してください。

・ 再生

TEL 端子に接続されている一般電話機から“20”の PB ダイアルと、その後の“#”ダイアルにより、再生(スピーカ出力)を開始します。

音声の録音／再生／消去設定が終了した後、通常モードに戻る場合はモードスイッチを“設定”から“通常”にします。設定を続ける場合は“SET”スイッチを押して次に進めてください。項目番号 1 に戻ります。

【ディップスイッチの設定】

ディップスイッチは2種類(設定1と設定2)あり、設定内容は下表の通りです。ディップスイッチの設定変更は必ずAC電源スイッチとDC電源スイッチの両方をOFFにして操作してください。

デフォルトは全てOFFになっています。

種類	ビット	設定内容	ON 設定時	OFF 設定時	備考
設定1	1	ダイヤル種別	PB	DP	使用する回線の選択信号種別
	2	ダイヤル速度	10pps	20pps	使用する回線のダイヤルスピード
	3	未使用	—	—	OFFに固定
	4	生産時使用	—	—	OFFに固定
	5	外部ブザーの停止条件	取消SWが押されるまで	逆信検出(逆信応答)まで	設定モードでブザー鳴動または警告音有り設定の場合
	6	停電などの検知時間	10秒間	1時間	※注1
	7	定時通報の時間設定	1分毎	30日毎	※注1
	8	試験通報メッセージ設定	試験メッセージ	通常メッセージ	※注2
設定2	1	非常用ボタン1設定	使用	未使用	使用する非常用ボタンに対応するビットをONにする。 未使用非常用ボタンのビットは、必ずOFFにすること。
	2	非常用ボタン2設定	使用	未使用	同上
	3	非常用ボタン3設定	使用	未使用	同上
	4	非常用ボタン4設定	使用	未使用	同上
	5	非常用ボタン5設定	使用	未使用	同上
	6	非常用ボタン6設定	使用	未使用	同上
	7	スピーカの音量調整	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音量大: SW7=ON ・ 音量中: SW7=OFF and SW8=OFF ・ 音量小: SW7=OFF and SW8=ON 		
	8				

※注1: 各種異常検知(停電、短絡、断線、混触)の確認、定時通報の確認を行うためのスイッチです。

※注2: 試験通報を行う際に、試験通報であることを通知する試験メッセージが最初に出力されます。

上記スイッチ変更により、短時間で通報の確認を行うことができます。

但し、確認後は変更したスイッチをOFFに戻すことを忘れないでください。

【表示について】

- 各非常用ボタンには他のボタンと識別するため、添付の PT-2060RK 添付シールを貼り付けてください。
- 各非常用ボタンの近接には他のボタンと識別するため 非常 110 番プレートを貼り付けてください。
- 非常用ボタン,確認用ランプ,非常用ブザーのケーブルには他のケーブルと識別するため PT-2060RK 添付シールを適当な間隔で貼り付けて(巻きつけて)ください。

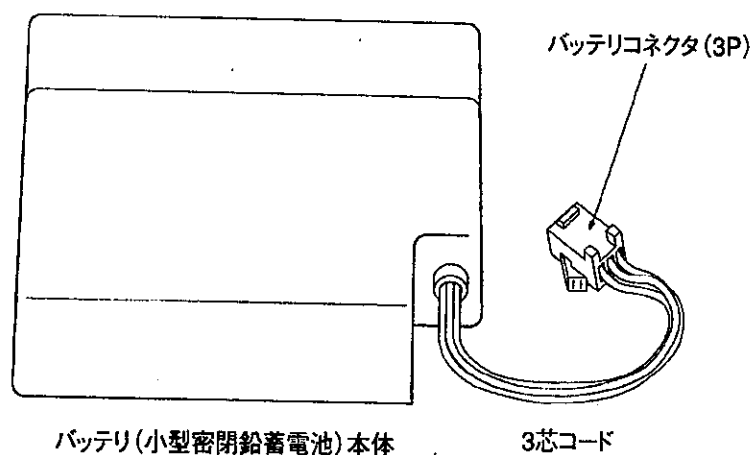
【バッテリー交換方法】

使用バッテリー : 蓄電池PE12V0. 8W7-IWA2(GSSバッテリー社製) 12V 800mAh

- ①バッテリー取付ネジを外し、バッテリーカバーを外します。
- ②バッテリーとPT-2060RKを接続している3Pコネクタのロック機構を外して、コネクタを外します。
- ③新品のバッテリーを装着し、コネクタを差し込みます。
- ④バッテリーカバーをはめ込み、バッテリー取付ネジを締めます。

注: バッテリーの寿命は電池メーカー製造後3年です。

交換時期はバッテリー本体に表示してあります。



【保証書】

IWATSU 保証書			
製品名	パトホン PT-2060RK		
お買い求めの日	年 月 日	保証期間	お買い求めの日より 1年間
(1) お客様	ご住所	〒 TEL	
	ご氏名	様	
(2) 販売店印			

この製品をご使用中、正常なご使用状態で自然故障した場合は、本保証書記載内容により1年間無料修理いたします。

1. 修理はお買い求めの販売店に本保証書を提示の上ご依頼ください。
2. お買い求めの日、販売店印などの記入漏れがあると無効となります。必ずご確認ください。記入のない場合はお買い求めの販売店にお申し出ください。
3. ご転居・ご購入品などでお買い求めの販売店に修理を依頼することができない場合は、下記電話番号にご相談下さい。
4. 本書は再発行いたしません。たいせつに保管してください。

※ご記入いただいた内容は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。

岩崎通信機株式会社
〒168-8501 東京都杉並区久我山1-7-41
03-5370-5700

保証規定

1. 取扱説明書、本体注意ラベルなどの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合にはお買い求めの販売店が無料修理いたします。
ただし、離島およびこれに準ずる遠隔地へ出張修理は、出張に要する実費をいただきます。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
(イ) 本書のご提示がない場合。
(ロ) お買い求めの日・お客様名・販売店印記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。

(ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障・損傷。
(ニ) お引渡し後の移動、落下などによる故障・損傷。
(ホ) 火災・公害・異常電圧および地震・雷・風水害その他天災地変など。外部に原因がある故障・損傷。
(ヘ) 消耗部品が損耗し取り換えを要する場合。
(ト) 電池の液もれによる故障・損傷。
3. 本書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.

★この保証書によって保証書を発行しているもの(保証責任者)およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
また、保証期間経過後の修理などにつきまして、おわかりにならない場合はお買い上げの販売店または弊社営業拠点にお問い合わせください。

年月日	修理者	ご確認	修理メモ



ご不明の点がございましたら、下記電話番号へお気軽にご相談下さい。

創造と豊かな対話のために

IWATSU 岩崎通信機株式会社
通信営業本部 〒168-8501 東京都杉並区久我山 1-7-41
03-5370-5700

YML001192